滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

集市元■吊百至六■吊二百
紅糧價錢■吊四百文至五吊
集合共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元四六吊九百至六吊八百

一 連紙 一連 一圓…
一 フールスカツプ 全 一圓
一 中判洋紙 全 四圓
一 半紙罫紙 百枚 二圓 二十錢
一 巻紙 四十枚續 十二 四錢

一 棚子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一 簞笥 三十圓以上十五圓
一 卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一 卓子掛 六圓以上十二圓
一 廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一 ■火鉢 八圓以上十二圓五十錢
一 長火鉢
一 箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一 宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料 一ケ月以内 長期連掲減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室
百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

相模丸 四月十一日發 大沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
山城丸 仝十三日出帆 大沽、芝罘、長崎、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話廿六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告

潮州丸 門司橫濱行 四月十三日出帆

代理店 東營口公園地橫 ブッシュ兄弟商會 遠來洋行（電話二十三）

新荷着廣告
朝日ビール
スペシヤル、ライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二）

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞此本十新到各種木料東洋炸子貨實價以應各主顧急之需 國本主人啓

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋靴鞋表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一公

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 集亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋紫身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撓利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆洁來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船 摩耶山丸 賴朝丸 專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設由清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌啤酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十一番）

三井洋行 電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

生徒募集
營口瀛華實學院 招入學生

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し夏に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

本學院肄業諸生頗著成效惜是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寛宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

東清鐵道 裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎
謹啓

材木 荒物 販賣
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之助商店
營口永世街第一八四號中野町

稅關手續
一 船舶代理
一 貨物取扱
一 委托販賣

弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市内貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口英國領事館東首 綏定門街第五〇
三仁公司（電話一五〇號） 小島榮歲

上海 中井洋行 專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號本門牌可也
中井洋行

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛東貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許 丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托重叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客棧本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站 東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站 東洋號運貨局支店

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊

喜久洋行
營口永世街八十號（電話百五十二番）

太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口太古輪船公司

啓者有遼陽聚豐隆在遼買東升廣會票一張計廣字元號聚豐隆名下營平銀壹仟零柒拾兩正係營口永遠興照付又買天和福一張字字一百六十二號聚豐隆名下營平銀伍佰參拾伍兩係營口廣順棧照付又遼陽廣興義托聚豐隆客人王輔臣帶來會信內附會票一張在遼買公立公司公字二號泰峯鎮名下營平銀壹仟零柒拾兩係聚匯源達照付以上會票於清歷三月初九日由遼陽乘火車赴營晚一點鐘行至牛家屯東在火車被匪人刼去並失去手票爲此聲明無論落在何人之手作爲廢紙望各中外官商切勿收用特此登報勿謂言之不預也

清歷三月十二日
遼陽 廣興義 聚豐隆 二家 仝啓

東京電報

●**新任露公使の着京** 新任露國公使バクメチエフ公使は夫人同伴着京直に公使館に入る

●**日銀の米國富商招待** 日本銀行は米國富商シツプ氏を後樂園に招待せり

●**生駒艦進水式** 本日呉軍港にて進水式擧行の生駒艦は本邦最新式の巨艦にて排水量一萬三千七百五十噸なり

●**臺灣總督更迭期** 臺灣總督の更迭は多分來月七日を以て行はるべし

●**臺灣地震尚止まず** 臺灣の地震は依然繼續今尚熄まず

●**韓國の煙草專賣** 韓廷にては國庫收入增加の爲め煙草を專賣とし酒醬油に課税せんとの議行はる

●**長岡子爵薨去** 子爵長岡護美氏は豫て病氣の所遂に本日薨去せられたり

（以上四月九日發電）

●**癈兵院法の公布** 議會を通過したる癈兵院法本日公布せらる

●**文武官へ酒饌下賜** 三十日大觀兵式後文武官六千三百餘名を新宿御苑に召させられ酒饌を賜はるべし

●**總　陸相の招宴** 大觀兵式翌日には參謀總長陸軍大臣には同御苑に於て內外人八千餘人を招待する筈なり

●**師團長會議の開會** 二十三日頃より大戰役後第一回の師團長會議を開く

●**駐露領事館の開館** オデツサ總領事館は飯島領事赴任後已に開館せり

●**佐々木少將陞任** 陸軍少將佐々木直氏中將に陞任せり

●**統監府機關紙發行** 統監府機關新聞發行するに決し社長は伊東祐侃氏なり

●**日米罪人引渡條約** 六日西園寺外相米國代理公使ウイルソン氏と外務省に會同し犯罪人引渡追加條款に調印したり

●**內務の義金取扱高** 內務省にて取扱ひたる東北義捐金總高は約六十萬圓に近し

●**潜水艇隊の編成** 第二潜水艇隊編成せらる

●**衆議院午餐會開催** 衆議院議員午餐會六日開催せらる

●**摸範勸業場設置** 統監府は十七萬圓を投じて水原に模範勸業場設置に決す

●**橋神間最急行列車** 十六日より新橋神戸間に十三時四十分間にて到達すべき最大急行列車を出す

（以上四月十日　電）

北京電報

●**淸露談判と滿洲撤兵** 淸露談判に於て撤兵問題に付露國は期限短縮を承諾せざりしが如し

●**滿洲瀛船會社の開設** 遼河大同江松花江鴨綠江の航業を目的とする滿洲瀛船會社は商務部の認可を經五十萬圓の資金を集め日淸共同にて來月より開業すへし

●**南昌事件談判地** 南昌事件談判地は北京に決せり

（以上四月十日發電）

倫敦電報

●**露國外債拒絕せらる** 獨國銀行家は露國の新外債に應募することを拒絕せり其理由は獨國外債の倫敦に於て發行さるべき期日切迫せりと云ふに在り

●**平和會議の制限** 露國の提出せる第二回平和會議の議案は仲裁々判所進行規定の細則制定及び戰爭規定の審議に制限せられたり戰爭規定の條項中には海上に於ける私有財產及び中立國の權利幷に義務に關する諸問題を含有す

（以上四月七日發電）

●**英國兩大學の短艇競爭** 英國オクスフオールド及びケムブリツヂの兩大學は短艇競爭を行ひしがケムブリツヂ大學の勝利に歸せり

●**モロツコ會議の調印引揚** アルジエシラスに於けるモロツコ會議の出席者は昨日を以て最后の會議を開き調印の後ち悉く同地を引擧げたり

（以上四月八日發電）

●**伊國噴火益々猛烈** 伊國ベスビウスの噴火は非常に其範圍を擴めポムペー方面に於ける火坑は冷却せしも他の方面に於て更に新火坑を生じ爆發絕ゆる時なし一火坑の如きは三千尺の高さ迄赤熱せる岩石を噴出しつゝあり多數の避難民はネープルス市に集合せり然れども家屋は震動を免かれず昨夜の如きは多數の市民廣き辻々に集合せり

●**露帝と蒙古大僧正** 露國皇帝陛下は蒙古の大僧正ダライ喇嘛に對して左の勅語を打電せられたり貴僧が朕の帝國に境せる北蒙古に巡錫せられたるが爲めに朕の臣民たる多數の佛敎徒は貴僧に參謁して精神的良感化を受くるの機會を得たるを喜び貴僧に對して深厚なる謝意を表す

（以上四月九日發電）

雜報

●**北京通信**（四月五日特別通信員報）

▲稽生疎懶久しく御無沙汰致し候想ふに貴社諸筆硯益御淸穆意氣日に昂り居り候事と欣慰の至りに堪へず候却說近來北京政界は何や彼のとゴタ〳〵致し居り候も扨て通信せんと筆を執つて紙に對すれば是と云ふて通信すべき程の大事件もなく小生の如き判斷力なき愚物は如何なる問題を捕ゆべきかに就て大に閉口致し候

▲彼の一時中外の耳目特に我國人の注意を惹きし露淸協商問題は其後頗るダレ氣味にて拳を握り肩を張り無我無中に力瘤を入れし看客も聊か氣脫けの調子にて殆ど世人より忘れられんとし居り候是れと申すも習例の飽迄狡猾にも飽迄ツウ〳〵しきポコチロフ氏が少しく淸國の鼻息荒く一も二も利權回收主權保全を主張し到底之を籠絡して掌中に丸め込み難きを見て苦肉策を講せし結果に御座候彼は淸國が飽迄對外硬を表榜する今日協商を續行するは百害ありて一利なきを看破し寧ろ會議を遷延し實力上より滿洲經營に着手するに如かずと覺悟せし者か宴會の席にて氣焰を吐き過ぎ少し咽喉を痛めては氣管支を害し會議するに便ならずとて談判を拒絕し晩餐の座にウオーツカを飮み過ぎ二日醉をしては病氣にて會議に列し難しとて會議の延期を請ひ爲めに淸露協商は十日に一回二十日に一回と云ふ有樣にて談判開始以來旣に二ケ月餘を過ぎしも會議を重ぬる事僅に七八回に過ぎずして問題の決着せる者は僅かに營口稅關收入の拂戾しを承諾せる一事に過ぎず其のダレ加限亦甚しからずや天下豈斯の如き馬鹿氣たる事あらんや併し露國側に於ては是れ兼ねて其豫定計劃の思ふ壺にハマリし者にして北京に於て斯の如く不得要領の態度を採れるに反し露國政府は滿洲軍と聯絡して着々北滿洲の經營に怠りなく各處に探險隊を派して礦山利源を調査し或は漠河奇乾河觀音山都魯河等の金礦を佔領して礦山の採掘に怠りなく或は東淸鐵道附近の土地を買ひ占めては倉庫を建設し且つ黑龍江將軍に交涉して海拉爾三姓等に於て土地を買ひ占め以で旅館建設を目論まんとする等火事場泥棒的運動オサ〳〵怠りなく且　黑龍江省界にバラツクを建設して卑弱なる支那官吏をオドシつくるなど其經營の要領を得たる誠に驚くに堪へたる者あり然るに何事ぞ淸國政府はポコチロフ氏の言ふがまゝに私は病氣で會議は出來ませんと云へばハイ〳〵承知しました然らば會議を延期しましよふと云ふ調子にて全く其術中に陷り露國が北滿洲に於て着々經營の步を進めつゝあるを坐視傍觀して其の豫防法を講せず曾て大聲疾呼せし暴露驅逐の言は何處へやらと云ふ有樣吾人聊か善隣の誼を以て他人の事を頭痛に病まさるを得ず候要之今後と雖も狡猾なるポコチロフ氏依以然として病を稱し熟考を唱へて會議を遷延し一方滿洲軍と聯絡して着々經營の步を進むべく斯の如くにして二ケ月三ケ月と過ぐる內には露國の北滿洲に於ける經營は牢固拔くべからさるの根蒂を据ゆべく此時に當たり支那政府の外黑龍江吉林の官紳がヤレ利權回收路礦自力のと噪ぎ立てゝも機旣に逸し奈何ともなしがたかるべく候故に今後若し淸國にして緊揮一番露國に迫りて速に滿洲問題を定奪せしむるに非ずんば折角の泡となり北滿洲一帶は再び露國の有となり啻に淸國の禍をなすのみならず亦東洋永遠の和局の爲め一大亂萌を貽すべく候嗚呼淸露協商の前途豈岌々として危からずや（未完）

●**總督の大觀兵式叅列** 關東總督大島大將には今回の凱旋陸軍大觀兵式に叅列の爲め來る十四五日頃遼陽を出發し奉天に出て輕便鐵道に由り安東縣より韓國を經て上京の途に就かるべき筈なるが奉天に於ては過日趙將軍の特に袁氏を派して遼陽に抵らしめ總督を訪問せしこともあれは其滯在中多分將軍との間に往復會見を見んかと傳へらる

●**牛家屯驛の貨物** 昨今牛家屯に集る所の品は大抵は石油、米利堅粉、上海米等にして其の行先地は主に奉天、鐵嶺、昌圖等なりと云ふ、但し昨今に於ける全停車場の品物の集り方は豫想に比して甚だ少しとなり

●**昨今の商況** 昨今の商況を聞くに日本人側は例に依り例の如くなるも支那人側に於ては解氷と共に多少の活氣を示し荷捌けも相應にありとなり尤も物價は解氷と共に槪して幾分の下落を呈せり就中最も著きは米利堅粉、石油、砂糖等にして解氷以前と今日の相場を對照すれば即ち左の如し

品名	數量	解氷前	解氷後
米利堅粉	一袋	二圓四十五錢	二圓十錢
石油	一箱	三圓十錢	二圓七十五錢
砂糖	百斤	十一圓	九圓

蓋し以上の諸品は解氷と共に殊に多量の輸入ありたるが爲なりと云ふ尚は上海米も非常に多數の輸入ありたりとなり

●**昨今の金融** 目下營口淸人間の金融は寧ろ逼迫の間に在り蓋し商業の活潑なるか爲に非す上海に於て金融の逼迫せるか爲也而して上海の金融か逼迫せるは本月は淸國政府に於て外債仕拂の爲に例月より少々餘分の資金を必要とし外國銀行より其の預金を引出せるか爲なりと云ふ尚は昨今の金利は信用强固の者に於て年一割五六分なりとなり

●**滿洲軍倉庫の管轄換** 滿洲軍倉庫は今回關東總督府に隸屬し關東陸軍倉庫と改稱せらるゝ由にて多分本月廿日頃より實行せらるへしといふ

●**大石橋の滿洲座開演** 豫て遼陽鐵嶺等各地にて興行し到處名聲を博せる滿洲座一座は今回大石橋に於て興行することゝ爲り即ち十二、十三の兩日に於て午後正一時より開演一般公衆の觀覽亦隨意なりといへば當日は定めて盛會なるへしと察せらる右に就き旅團長仙波少將よりは特に瀨川領事に書送して舘員一同及ひ有志者の來觀を促し鎌田副官亦束して我社員の叅觀を勸め來らる當營口在住の有志にして特に往觀を希望せらるゝ方は何人を問はず歡迎せらるゝ筈なれは一日の淸遊亦當節に取りては無上の鬱散晴らしならんか

●**芝居の開演** 昨夜より興行すへき岡本千代花一座は舞臺道具建其他萬端の都合に依り一日を延期せしが愈々昨夕より開演總一座車輪となつて觀覽に供すと云ふ

投書かご

▲西營口の或飯店は開店前から客を取つて居る不法な奴ぢや此五六日前からも又四五人の女を連れ込んで毎晩ドンチャンやつて居る其筋では御存じ無いのですか其男主人は軍隊に緣故があるなんか言ひ觸して居るが眞赤な噓で或師團の馬丁であつたげなお神さんは血を分けた兄弟と爭論をして領事館の御手數迄掛けたエラ物ぢや（誤世話敷寄）▲凡そ名譽職とすへき人物は十分其資格を有する者で無ければならぬ然るに何を苦んでか〇〇輩如きに與ふるに神聖なる理事長若しくば幹事長の榮職を以てするか我輩は之を見て營口人士の腑甲斐無きを慨嘆する者である（熱血生）▲八日の新聞に醉月の主人は人夫上り云々とあつたがあれは間違ですあの人は元臺灣商業銀行の重役で中々利かしたものです他の事は知らぬが人夫上り丈けは少々ヒドい何うか取消して上げて頂戴な（博聞生）▲女中を至急雇入れたいが望の方は至急來談ありたし但し獨身者に限る住所姓名在社（某洋行）▲野暮原洋行の小山さんは大山を張るへく牛家屯の大男殿にお取持をして居るさうだが遼陽事件の二の舞をせぬやうに御氣をつけなさいよ（誤注意生）

●**人物月旦**

松倉善家君（中の下）　覆面郎

果して然らは、軍人となるも恰好の業務を以て見らるゝ彼か、更に志士に宗旨を改めたるは、固より緣の無き改め方に非ると共に、不似合を以て見る可らす、豈に啻に不似合と云ふ能はさるのみならんや、階級無き志士の立場は、軍人に比較し、彼か其の特長を發揮するに於て更に勝る者あるも知る可らす、若し其れ將來の理想に至りては、其の貫徹遂に不能ならんか、然かも天職を奉して事に當る、有志家に於て、業の成否は固より其の成否に關せさる也、之を要するに彼は軍人となるも可也、志士を以て盡し有志家を以て任するも亦可也、詳細に計量すれは、兩者の間其の是非得失の分量に於て、多少の相違を見るあらんも、大体に於ては即ち共に不可あるなし、固より商業家と同一に論するを許さゝる也。

以上に依りて之を見るに、松倉氏か最初に希望せし者は軍人にして、其次に希望せしは志士也、對淸有志家也、若し夫れ商賣人は最後に希望せし者也、今日の商業家は則ち最後の志望なりき最初の志望に從ふて軍人となるも彼に於ては適當の職業也、荒尾宗に改宗後の志士を以て居る有志家を以て任するも亦た甚た妙ならずとせず獨り商人を以て任し、商業家を以て居るに適したるは、遂に其の何の故たるを知る能はず、凡そ人間は長するに於て思慮周密を加へ判斷其當を得るに近く者と爲す、顧て彼を見れば、寧ろ年若ふして思慮週密に、長するに從ふて愈々粗漫に陷れる如し、何爲れそ初に於て身を處するに巧にして、後に於て粗なる、彼に於ては歲月は益々智力を減殺する者乎、抑も亦た意氣の銷沈乎。

彼に於て最好の職業は實に軍人也、適當の任務は實に志士也良好の看板は實に有志家也、最上の事務は實に政治家也、則ち商業家は善良の職業に非す、立身出世の道に非す、若し天賦の發達を全ふし、以て一身の滿足を得んと欲せは、彼は當然一軍人たらさる可からさりし也、然らされは有志家たらさるへからさりし也、然らされは政治家たらさるへからさりし也、彼は遂に身を誤りたる者乎否乎、松倉善家一身の立場より打算すれは、商業家は彼に於ては極めて不[illegible]の業務也、決して幸福を得る所以の道に非す、復た滿足を求る所以の方法にも非る也、然れとも更に國家の利益より打算すれは、彼は實に必要の商業家也、有用なる企業家也、大切なる經[illegible]者也、何を以てか然りと爲す

正誤 昨日の月旦松倉善家君（上）は（中の上）の誤植に付き訂正す

●**內地婦人の葬儀** 金城館の佐藤タカ子は先日來病氣にて[illegible]病院に入院治療中の所藥石其の効なく一昨日遂に花の盛りの十九歲を一期として哀れはかなく無常の風に誘はれ此の世の暇乞をしたれば昨日は同館主の厚意に依りて本願寺出張所に於て寺本布敎師の導師の下に頗る鄭重なる葬儀を營みたる由死して餘榮ありとやいふへし

●**廣田屋の營業停止** 原籍大阪市南區東淸水町現時營口二本町居住廣田屋事寺本スイ（四十）は昨日午前十二時突然其筋より三日間營業停止を命せられたりと云ふ今其眞相を聞くに同樓は旅館專業なるにも係らず日夜多數の淸人を引入れ賤婦をして密に春を賣らしめ加之旅人をして二三日間も宿泊せしめ其筋へ宿泊屆出をなさざる廉を以て斯くは處分を受けたる者なりと云ふ

●**營口花信** 花界の大問題三井の御祝儀はどうしても帳場が怪しいさうぢやが第三樓は兎に角其當時奇麗に各自へ分配したさうなが日本館と金城舘とは極めて曖昧だ凡べてさういふ問題は花界の恥辱であるから早く解決したがよい▲永世街八千代舘の仲居に鬼金齒が居る客を咬はへて振り廻すと實に驚くべしだ素晴らしい腕前でげすな▲第三へ今度大坂南地から新猫が一疋來た年は二十二と聞いたが新參でまだ名前が付かぬさうなが命名式は二三日中ださうな▲此頃便船毎に女の渡航か二三十人は必ずある併し何奴を捉らまへて見てもヘチャクレ許りである少し見られると思ふ者は皆人の妻君のさうぢや料理店もウツカリして居ると猫共を二束三文に賣ら無きやならぬとに爲つて了ふぞ▲高砂ホテルの菊代、榮、一榮、十郎、高之助、高子、元祿なんて一騎當千の面々鐵嶺の鼻下長を討滅すへく愈々昨晩九時半の滊車で進發したげな其御威勢ちや向ふ所悉く風靡するであらう

大車

▲上行車時刻表
車站名 開午點分 到午點分
新民屯至溝邦子 上六、〇〇 上九、五七
營口至山海關 上八、二〇 下六、〇〇

▲下行車時刻表
車站名 開午點分 到午點分
北京至山海關 上八、〇〇 下六、二〇
北京至天津 上一一、二〇 下五、四一

稅關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
日本汽船部、同曹部

諸鐵工製作
礦山船舶機械職工
營口 ロツ 川鐵

當一座儀日本各地に興行し大方の御愛顧に擄り好評を博し來り候處今般御當地好劇家の御招聘を被り來る四

天氣
營口地方天氣豫報
自十日午後六時至十一日午後六時
雨の風

新作小說 小說 おとし胤（三十二）

德田秋聲

健三が光に手紙を渡し損ッてから、もう半年を經過して了ッた。そして光が海鹿家の家庭の人となッて、何時か半年暮して了ッた。實際月日の經ッ位疾いものは無い。

光は、もう大分東京馴れて來た。否、東京に馴れたのでは無い。海鹿家に馴れて來たのである。從ッて、海鹿家の樣子も大概解ッて來れば、自分の地位、自分の境遇も約解ッて來た。そして華族といふものは、自分の思ッてゐたよりも立派なもので無ければ、貴いもので無く、それでゐて思ッたよりも窮屈なものであることを知ッた。

成程父君は、自分の思ッてゐたよりも、慈愛のある、優しい方だ。自分の事と謂へば身に代ッて回護ッて下さる。それで光は、染々と親の有難味を覺えた。親といふは、此樣なに有難いものかと思ッた。また此の慈悲ある父の威光で、小間使仲働はいふに及ばず、家扶、書生、車夫、おさん、出入の誰彼までが、お孃樣々々と謂ッて、下へも置かぬやうな待遇である。勿論着る着物までが、華族の姫君の其になッて了ッてゐるのであるから、人々の尊敬するに何んの不思議もない筈た、何しろ光は、小御門村にゐた時には、身分も違へば、姿も、心もすッかり變ッて了ッた。固より猿島光と海鹿光子とでは家柄から謂ッても非常な相違がある。彼は昔の家臣、是は昔の主君、彼は、今では一箇の士民是は、今では華族！

雖然光は、此の華族の姫君になッたことに就いて、何んとも思はなかッた。格別身の幸福を思ふでも無ければ、榮ある身の果報を有難く思ふでも無い、たゞ朝夕血を分けて戴いた父君に親しむで、滴るゝが如き慈愛の露に惠まれるのが悅しくてならなかッた。何故か。他に向ッてはそれは嚴格な、激しい御氣性の父君も、光にばかりは、何時も笑顔を見せて居られて、言を荒くせられたことさへ無い。これぱかりでも、光は、父君に向ッて、手を合せて感謝してゐた。されば、光は、誰よりも父君になづいて、遠慮もしなければ、憚りも無い。思ふまゝに其の慈愛に狎へてゐたのであッた。

されば、もし、海鹿家に、父君の他に誰も居らなかッたならば、光は、此の上も無く幸福な人であッたのだ。幸福を通越して天上界の人となッてゐたかも知れぬ。併し釋尊にも提婆といふ邪魔があッた。花が咲けば、嵐が吹く。

海鹿家の家庭は、決して父君獨の家庭では無い。また父君獨に絕對の權力がある譯でも無い。第一に義母君、お祖母樣、加之叔母樣と謂はれるお二方と、都合四人の聲のお優しい鬼が居られる。否、光に取ッては、鬼のやうに邪慳な方等が居られて、機があれば、光をいびられるのである。最も誰方にしても、父君の前だけではお優しく仕向けられる。

雖然、幾ら光が、父君の思ひ子だと謂ッても、既に體が二ッであッて見れば、お傍を離れて居らねばならぬことが多い。お傍を離れてゐると、乾度此の鬼の眼が光ッて、金棒が振廻されるのである。小突くいびる、それてそ眞箇に繼子扱だ！　上を見習ふ下で、それを見て仲働や小間使までが、口にこそ出さね、表面こそ敬ッて居れ、內心では「小御門の田舍娘！」と侮蔑ッてゐることが能くも光に解るのであッた。また場合に依ると、底意地の惡い仕打に光を苦しめるのであッた。

されば光は、此の家庭に入ッてから始めて、「口惜しい」とか「腹が立つ」とかいふ味を覺えたのであッた。人には、裏と表のあることも悟ッたのであッた。涙は、悲しいばかりで出るもので無いといふことを知ッたのであッた。泣きたい時も泣かれず、笑ひたく無い時にも笑ッてゐなければならぬことのあることも解ッた。これが、光に取ッて、恐ろしく厭苦い！　雖然光は、假令何樣なことがあッても、全て自分の胸に收めて、一言父君に何んとも謂ッたことが無い。全て怺えた、全て辛抱した。それで父君は或は光の此の苦痛を御存知無いかも知れぬ。光はまた、成べく父君の御存知無いやうに願ッてゐたのである。老体の父君に餘計な煩を掛けまいといふ天性の孝心である。此の孝心が通じてか父君は何時か、其と感付かれた。感付かれては身に代えての思ひ子のことであるから、父君は決して默ッて見ては居られぬ。そこで光の事が導火となッて、海鹿家の家庭は波瀾万丈！

●東都花だより

四月二日　鳥山生

兩三日前より滅切り暖氣を加へザアと降雨も有之候事とて花もそろ〳〵笑ひ初め候日曜でもあり且つ好天氣にて今日の上野は人出夥しく候、どの電車も滿員札に明日の神武天皇祭の雜踏推測られ候。向島は充分蕾も膨らみ此處兩三日も過ちなば半は開き可申土堤の茶店やら廣告やらの準備に忙はしく赤き布なぞちら〳〵風に弄ばれつゝあるを見れば何にとなく向島らしく相成候、櫻と共に向島の名物たる各學校短艇競漕春季大會も明日の高等商業學校の催しを筆頭として殆んと連日行はるへく、角帽や、圓帽や、ヲカマ帽の土手[illegible]、各學校の選手の練習は中々目覺ましきものに候中に取り分け目立ち候は帝大と高商のそれに候加ふるに本年は又々彼の三井三菱郵船の二社一行の競漕復興せられ明日の高商の來賓として行はるへく、各社の應援設備盛にして八千圓にも達し候由に候へは明日の高商大會は見物と大評判に有之候。大會の景況は後便にて可申上候、近來東都一般の風俗奢侈に流れしにつれて學生も餘程柔弱に陷り候中に獨り此短艇界のみ古風を存し居るは實に慶すへき事にて此事が向島に於て見ると云ふにて一層の趣味可有之と存候、櫻花は實に東京の花に非すして帝國の花たると共に短艇競漕も亦獨り學生の精花に非すして實に帝國青年界の花と被存候何れ明日後便を認め可申候

偶作四首　下田醉月

驚看紅旭射窻櫺　處々鳥聲欹枕聽　春夢多端醒不記　唯餘池上草靑々

書長唯是讀書貪　此裡先賢足美談　周孔時々來在枕　春人不復夢江南

春閑動是悶襟懷　偶愛紛華步上街　少女逢人遽避路　不知背後墮金釵

溝渠氷泮水淙々　夜半眠醒臥亦慵　想起故山春事好　抱衾坐到曉天鐘

春の海　耕南

海原をあさる小舟のかゝり火も　なみ路はるかに霞む夜半かな

同　露月

島山も深みどりして見えにけり　なみ靜かなる春の海原

遠山霞　黄雨

さほひめのおれるにしきをまかふまて　外山のかすみ立ちこめにけり

花五句　虛空洞

浪宅にふさわしからぬ櫻かな

一燈の十歩を照らす櫻かな

山寺の鐘きこへけり花七日

鳴らさずの青銹鐘や散る櫻

散る花にぼんぼりの灯を滅しけり

●懸賞腕押　硯闢の大黑澤君は腕押が大變自慢なさうで俺の左腕に勝つ者は十圓やるなんかて大氣燄のさうちやがまだ勝つた者が無いので夫子大得意ちやげな營口此頃のセチ辛き時分に何んと甘い錢儲けでは無いか我れと思はん者は名乘り出でゝ天狗鼻を一つヒシ折つたら面白い（注進生）

廣　告

歸任の節は遠路態々御出迎を辱うし御厚情深謝し奉り候此に略ながら紙上を以て御禮申上候

四月十日　與倉喜平

僕回任時、蒙諸君郊出、極意歡迎、白慚無德、何以堪之、特錄報章、藉伸謝悃、

四月十日　與倉喜平謹啓

生儀古巢に寓居　二本町元松永組跡　山田千秋

在宅時間午前は十二時、午後は六時より

法律事務所の開始

生儀前に判事幷に地方法院長等の官職に歷任し及び辨護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辨護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依賴に應ず

營口永世街金城館南隣り　小林法律事務所

從七位勳六等　小林一生

○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絕對に謝絕す

廣　告

豫而廣告仕置候齒科醫田添豐三君ゝ愈昨日來營不取敢日營ホテル第一號室に於て治療に從事せらるゝ事に相成候間此好機を逸せす續々治療を受けられん事を望む

四月十一日　營口有志者

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す

▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄

妊婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森矯

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す

◎本院齒科開設　齒科醫　兒島市郎

本月十五日より開設す　森病院

爲替劵盜難廣告

繁號（聚豐隆）は先に遼陽東昇廣より爲替劵廣元號聚豐隆名下營平銀壹千七拾兩營口永遠興の支拂に係る一通及仝地天和福より宇字百六十二號聚豐隆名下營平銀五百三十五兩營口廣順棧の支拂に係る一通又繁號（廣興義）は遼陽公立公司公字二號泰峯鎮名下營平銀壹千七拾兩營口匯源達の支拂に係る一通、を受け以上三通を遼陽より聚豐隆の客王輔臣に托し清曆三月九日遼陽より滾車に乘し牛家屯に達せんとする翌午前一時頃車內に於て盜賊に切かされ前記三通の爲替劵及所持金を奪取せられ依て前記三通の爲替劵は何人の手に渡るとも全然無効に付茲に紙上を以て特に廣告候也

月　日　遼陽　廣興義　聚豐隆

鐵嶺西門外大通　御旅館　御料理　**福屋**

質屋營業

諸々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南東第三十六號　北斗洋行質屋部

大阪商船會社荷客取扱所　內外船舶代理係貨借仲立　輸出入稅關手續　解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托倉庫

潮州丸

去ル七日着船之處三日間撿疫ヲ受ケシ爲メ本日入港早速荷揚ゲニ着手仕候條此段御荷主各位ヘ御案內申上候　尚出帆ハ來ル十四日午后門司神戶行ニ候間御乘船之御方ハ御申込ヲ乞フ

西北　德重洋行

奉天日本旅館　**瀋陽館**

家屋宏壯淸潔　接待優遇懇切

開放全時一開業　奉天小西門外大街路北

御手輕料理

一釜飯御一人前　五十錢より

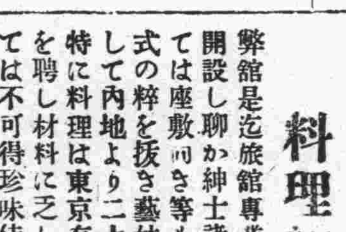
一卷壽し　一本　十五錢より

一湯豆腐　一壺　廿五錢より

一東京壽し　一人前　卅五錢より

右之外御誂に應す

月　日　營口元神廟街二〇九號　翁亭



料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を抜き藝妓仲居も弊店付として內地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の廚士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整ひ愈本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候

追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　第一營口ホテル　料理　第一樓（電話八四）

滿月　平の町（電六三）　滿月支店　平の町（元都樓跡）　店主　吉本操吉

和洋會席　御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町　日本館（電話百三十）

各位樣

CARTRIDGES.

We have just receiveda large assortment of Spo - ing Cartridges for 8, 10 r& 12 bore Guns which wea're prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着

第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候

ブッシ商會

胃腸病新藥

消化劑 糖化素

医学得業士 矢島氏發見

滿洲特約一手販賣 營口大街 東瀛大藥房

本劑専治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹泡脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如傷食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓效

醫學士日本醫學得業士 矢島猛十郎 謹白

Yano & Co.

矢野洋行

電話一三七 Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ハ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

清國營口二本町二五五號 主任 鹽川峯吉 (電話一三六番)

發賣 材木 標子 木級

〈一〉 鹽川商會

遼陽小西門内 鹽川商會 ●建築

外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

旅人宿 東館

大連市信濃町卅九號地

特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

醇良自釀清酒

牛莊港東營口

宅合名會社 營口支店

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢 醤油 瓶詰 樽詰
菓子 鑵詰 色々
洋酒類
右取次販賣

大日本東京 本舗 山崎帝國堂葯房處修

腦丸 天授

天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也 たんせきねつさましの一切の妙藥

腦丸者天下唯一之腦病靈藥也 腦病の名藥にして他に類なし

大清國 總批發處

營口大街(永世街二本町) 藥司洋行 淺野爲三郎 藥劑士

福壽堂 大葯房

醫械藥材 有名靈藥 總發賣處

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

萬事勉強乘車乘船好位置 營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎 (電話百七十八番)

即席和洋料理 東京樓支店 (電話四十四番)

西洋料理仕出し御需に應ず

一 料理用白味噌、赤味噌、
一 煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醤油、白米、鰹節
一 罐詰類、
一 瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一 清酒澤龜特約並に瓶詰、
一 酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、

雜貨商 大原洋行

其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度く奉願上候也
營口永世街第廿八号

御旅館 豐陽館 (上海電話一〇六番)

日本郵船會社荷客取扱
歐米氣船乘船取扱

館主 米田藤吉

梅毒婦人科 外科胃腸病 專門日本醫院

全身麻酔局處麻酔新器械無痛手術

輕便入院

永世街警務課ノ前

銘酒 白鶴 諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては御小賣とも是迄の賣直段より壹割引 酒及米、鑵詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

營口元神廟街 井門洋行
遼陽西門外 仝支店

大日本帝國醫科大學模範藥司御用 攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒 澤之鶴

滿洲特約大販賣

周 裕和盛號支店

清國營口西北街 電話八十一番

大連湖北彩票毎日賣出

東清鐵道裕和盛運輸局

○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本店日本長崎梅香崎

○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

澤之鶴は 既に定評あるヲ美錄
裕和盛は 清商中日本通の張本!

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號(電話一七三番)
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく亀破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なりリサイトは室内裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂なし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号(電話一七三番)

井上公司

時刻

山海關至北京	上八、〇〇	下六、四五
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
溝邦子至新民屯	上三、〇五	下六、五七
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
唐山至山海關	上六、〇〇	下一一、五八
天津至山海關	上六、二五	下六、二一

…保管可申候
市場北三階樓
時計店ノ二階
宮原公司

土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
…街東

…場
致候間永當々々御來觀の程奉希上候
岡本千代 一座百拜
…豫報

昨日の氣温
昨日最高温度五十二度五 最低温度二十九度三
昨年との…低七度四 低十五度一

宮門抄

十四日
戶部 宗人府 正白旗值日侍衛㢢引 見二名 刑部十一名 工部九名 理藩院四名 欽天監二名 光祿寺二名 恭王假滿請安 朱寶奎謝議叙 恩 廣東知府吳蔭培謝 恩 桂公續假十日 玉山 景清 伺候 召見
掌儀司奏十八日祭
奉先殿振貝子行禮
召見軍機 吳蔭培 玉山 景清
財政處遞封奏一件

上諭恭錄

十四日奉
上諭丁振鐸奏甄別文武各員一摺雲南候補知府賀宗章稍有才具意望甚奢難于駕馭着以同知降選即用知縣韋朝晃迂拘鄙嗇難任地方惟文理尚優着以教職歸部銓選開缺另補知縣楊恩吉學習年久文理欠通補用同知朱裔來歷不明試用巡檢劉方岱性情浮躁僅請勒令回籍揀發知州歐陽秉衡報款含糊被控有案補用知縣何祥麟擧止輕佻輿論未孚僅請以府經縣丞降選均不足示懲以上五員着一併革職補用都司王天祿遇事生風包攬詞訟景蒙營中軍守備許朝聘營務廢弛錮習甚深鎮雄營左軍守備李廷玉曖昧不明招搖有據祿豐縣訓導李劾培借端磕詐不齒士林試用巡檢朱沛霖胆大妄爲藉差索詐均着革職以肅官方欽此

論說

論冒險之精神（續）

至於倡宗教保持之主義。耶氏之徒。蹈險阻忍饑寒。以流傳其教法。釋氏之徒。如鳩摩羅什達摩輩。猶能卓錫東來。闡揚宗教。法顯元奘輩。猶能攀籐絕域。考求經典。以爲主教光。若夫熱誠之徒。不甘弱伏。內政外交。力圖進步。南北花旗。離英立國。特蘭斯瓦。自謀獨立。成敗異點。毅力合轍。羅馬之瑪志尼。阿爾伯士之滙巴尼路。鉢達之該撤。印度之亞力山大。皆爲造社會之偉人。日本維新前。國勢岌岌。吉田松陰。西鄉隆盛。福澤諭吉。加藤宏之。以一介書生。慷慨任事。激情風發。卒贊維新之大業。其浩然之氣。俱足以震大地而撼日月。各國堅忍性成。從可概見。宜乎釀成今日政學發達之現象。而有以傲我所不及。及其嘗我人士也。曰血性冷靜。曰粘液性質。豈其然乎。文王興憂患之易。文宣譜猗蘭之操。履險如夷。流風足企。春秋戰國時布衣直接諸侯王。分庭抗禮。藺相如曰。請得以頸血濺大王衣。毛遂曰。王之命懸於遂手。危言悚論。卒皆佐主强國。司馬遷爲游俠列傳。天下懍然於正氣所存。世愈降而此風不稍減。董狐之筆。張良之椎。宋弘之强項。能起懦而立人。至陳湯甘延壽之襲殺郅支單于。呼韓邪甘拜下風。蘇武在西域歷十九年。班超在西域三十年。皆艱難經營。能爲祖國增拓權力。偉哉尚已。至若文天祥男子之譽。方孝孺殉建文之難。何孟春金獻民徐文華號召同僚。跪伏左順門。以爭大禮。黃宗羲率子弟以禦大軍。何壯烈如之。而東漢之氣節。明季國民之風。固尤倔强。類皆輕生重死。出險入艱。爲支那歷史之光榮。安在其不如各國也。嗟乎東西兩洋相隔萬餘里。崇山大漠。區域關而人才挺生。雄心相媲。文想瑰絕。武命壯絕。東西遙峙。有如符合。剛强不拔之概。照耀古今。何其隆歟。惜我國自漢代表章儒術。罷黜百氏。唐以後以攷据詞章取士。士氣銷塞。無活潑現象久矣。雖堅忍之精神。仍時流露。足以湧志氣於九天之崇。噴熱血於寰海以外。而乏於政。學界實際冒險之主義。數往代之豪傑。仰餘韵而生歆。求如哥倫布麥哲倫路索斯賓塞。輩其人者。幾乎絕無。豈眞彼邈乎其耶。政教乖其方則民氣隳於是耳。趙武靈王胡服騎射以敎士民。拓地甚廣。斯巴達國黎堪格斯之立法。大旨在强壯身體。養成膽力。設會食法。食後夜歸。不得燃燭以儲其黑夜進軍之膽。其女子体育。靡異男子。專習競爭角觝拳格諸術。厥後斯巴達。散曼戰。相持有年。竟滅人國。治天下者。欲養成國民冒險之性質。其亦知所適從矣。雖然冒險之原動力。發軔于未事之先者也。苟迫不得已。出以孤注。鮮不僨事。不憶夫中東之役乎。我國海船不如日之堅。海軍不如日之練。近泊海岸。猶或可守。貿貿然與敵艦鏖戰於驚濤巨浪中。其冒險則似矣。然如螳臂當車耳。奚所濟。故卒至以數十年心力所仿造之船盡付東流。事豫則立。不豫則廢。匪特海戰之宜審也。吾儕思陶冶冒險之精神。以與中外古今諸豪傑相後先。先當祛其浮躁之氣。錬吾堅毅之力。寔行各國之體育。以特立獨行爲宗旨。以百錬千鍛爲氣骨。出而應變。其庶幾乎。（完）

北京電報

●俄國不肯短縮撤兵期 聞此次中俄協商中國所提議短縮撤兵一事俄使竟不允云

●滿洲輪船公司之開辦 此次滿洲輪船公司已經商部允許決於西五月開辦云聞該公司成於中日兩國紳商合辦其目的在於遼河大同江松花江鴨綠江等河川從事搬運之業其資本金共五十萬圓云（以上四月十日發）

東京電報

●俄國欽使到日本 新任俄國公使巴古鳩滅君携帶其夫人來日本已於西四月九日晋京直入使館云

●生駒艦之進水式 西四月九日於吳軍港擧行生駒艦進水式按該艦在日本戰艦中屬最新式之巨艦其排水量共一萬三千七百五十噸云

●韓國擬專售煙草 此次韓廷爲增加國庫收入起見已決議專售煙草且課稅酒醬油等品云

●日本大操後之盛筵 西本月三十日日本擧行凱旋大操一事屢誌報端聞大操後日皇召見內外文武臣僚六千三百餘名於新宿御苑下賜酒饌云並聞翌西五月一日大山參謀總長及寺內陸相亦請內外賓客八千人於該苑大張祝宴云

●統監府決議設勸業場 此次韓國統監府已決議籌辦十七萬圓於水原設置模範勸業場云

（以上西四月十日發）

中外要聞

●歐州外交近況 法國自新內閣成立以來爲日尚淺是以雖其內治外交之要領未明由來薩利安氏以政教分離爲政治的方針自今使社會黨不亂其步則如財產調查着着可見其進行雖然樹立於各派混同之上解決此至難問題不可不注其全力固不待論也前內閣爲既有此問題決意放棄小亞細亞敎徒保護權緩東亞經營之度矣故今後不獨東方諸問題如阿弗利加問題亦得無供犧牲之覺悟哉自摩洛哥問題會議場亞爾給西拉斯所出電報無報協商危機日迫反之自英德法諸國所來情報均共爲和平而其商議遂爲由德法交讓可得成立是卽英西墺義諸國皆所希望而無一國喜其衝突者云

●東清鐵路多收利 聞日本臺所獲於俄國東清鐵路刻係參謀本部所經理今際克復平和之後行旅搬運一以增進貿易利權爲宗旨頗有攘往熙來應酬不暇之概卽寬城子以南迄旅順口一路每日收利有約二萬元奉天一站尙每日一千元以上之譜倘辦理更有得方法將來收利益多想應不讓韓國京釜京義等各鐵路云

●請禁買賣人口可以議准 兩宮將飭政務處通諭各省將南洋大臣周馥條奏之買賣人口之事籌劃禁止之法

●和平民教策中之一條 張香帥氏條陳和平民教之策茲探悉內有一策云嗣後遇有民敎之案准由敎士陪審惟寫判權則仍操之於地方官如敎士以所審之事有偏護之處卽可函致該國就近領事照會地方上憲核奪不得由敎士在公堂爭執云云

●英隊敗績 英國勦撫隊已與匪黨接仗戰稍不利敗走六里退守克禮旦城現於此戰巡警三名死之聞勦撫隊當於二十四點鐘內添調援兵以壯軍容並聞勦撫隊中有一枝隊現已爲匪徒截斷

●警備匪襲 又於克禮旦城施防禦工程預備一切以備匪襲

●德首相之猝症 德國首相俾羅公爵向德議院申明亞爾塞士拉斯會議協定事項條理明晰因談時頗久偶然精神迷瞀立地昏倒不辨人事故由該議院令人送俾公還議院遂行散會

雜報

●少年行詐 牛家屯鐵路向西南營修支線鋪墊基址禁止往來車馬日前有鹽車八輛不知所禁經過其上巳七輛落後一輛被四少年瞥見截阻論罰車僕哀求少年日不必多言卸爾騾可也詎被巡查張贊泰者遙望之疑爲盜賊敢於近牛市處刼御車馬遂稟憲兵將四惡少拘送於警務課署云

●萬國演說會臨時開會 聞本埠萬國演說會會正魏牧師雅各特知會各會員於本日午後五點鐘齊集火神廟開臨時集會演說要公云

●迴浪沉舟 河北人云四合棧門前乃往來渡客所經之區前日近夕時南風最猛晚汐殊狂見有兩葉扁舟櫓搖槳盪上下奔波激蕩急流迅於驟馬比及北岸浪若銀山適停棹間雙舟潑沉幸人皆鳧水而上惟衣溼淋漓不勝戰慄云云

NEWCHWANG, WEDNESDAY, APRIL 11, 1906.

The wind seemed to have exhausted [illegible] by yesterday morning after keeping it up quite brisk for several days. The fairest, loveliest weather yet experienced has followed that is gratefully soothing and energizing.

Next Friday (the 13th) being Good Friday, the Custom House will be closed to public business.

The Consular Body concurring with the proposal, quarantine has been removed against ships coming from the ports of Osaka and Kobe.

H. E. Chin, President of the Foreign Board, Mukden, is expected here on board the "Haeting" due to-day, on his way back to the Provincial Capital.

Mr. Julius Jaspersen and Messrs. Ruffie and Eilers have established themselves in business here under the Chinese Hong names respectively of Te Mao Yang Hang (德茂洋行) and Ko Lung Yang Hang (克隆洋行). We wish them both every success.

Mr. E. Blacher left for Tientsin yesterday morning after staying for a few days with Dr. Daly. Mrs. Blacher is likely to come over to the port on a visit in the coming June when the weather is at its best here.

Mr. K. M. Shaw of Messrs. Ford and Shaw, the Tientsin architects, is rumoured to be returning here this week with a view to opening a branch office.

It is understand that Rev. Mr. Carson is starting to-morrow on another 2 weeks' tour of Kaichow, Hsiung-Yo-Cheng, and Wa-Fang-Tien in connection with his evangelical work.

Mr. F. H. Kuan, Magistrate of Haicheng, who appears to have established quite a repute even among foreign residents of North China, as a pioneer of reforms, finds his name on the top of the programme for the leading speech at a special meeting of the Wan Kwo Yen Hsuo Hui (Chinese and Foreign Mutual Improvement Society) to-day (Wednesday) opening at 5.30 p.m. at Hoa Shin Miao (Temple of Fire God) in West Yingkow.

All who may be interested in the new forward movement in China, whether of the Society or out of it, are cordially invited.

Mr. Kuan and his indefatigable efforts in the cause of popular enlightenment at Haicheng occupy fully 2 pages and a half on the Daily Consular and Trade Reports, published by the Bureau of Manufactures, Department of Commerce and Labour, Washington. A letter by the American Consul-General Mr. Thos. Sammons describing matters of his personal observation during a visit to Haicheng last winter has been reproduced almost in its entirely in No. 2488 of the interesting official periodical dated Feb. 13th last.

In the graphic pen-picture of the enlightened Chinese official, he is represented to be "one of the most progressive Chinamen I (Mr. Sammons) have met in the Orient, and is disciple of Yuan-Shih-Kai the Viceroy of Chihli who is advocating reform methods for China."

The latest Tokyo tidings inform us that the Residency-General at Seoul has in contemplation the starting of a journalistic organ under the management of Mr. Y. Ito. The Residency-General has decided upon the establishment of a model agricultural experimental station at Sui-Gen (水原) with an appropriation of Y. 170,000 for the purpose.

M. Baktocheff (?), the new Russian Minister to Tokyo and Mme. Baktocheff arrived at Tokyo on the 8th instant, and took possession of the Russian Legation. The Japanese Consulate at Odessa has been re-opened upon the arrival of Consul Iijima there.

Marquis Saionji, Premier and Foreign Minister, met the American Charge d'Affaires Mr. Wilson at the Foreign Office on the 6th inst. to exchange signatures on the supplementary agreements to the existing Extradition Treaty, which had been concluded anew. The 1st general meeting of all the Division Commanders after the late War will be convoked at Tokyo on about the 23rd inst. The armoured cruiser "Ikoma" (13,750 tons) which was launched yesterday at Kure is the largest warship yet built in Japan after the latest improved plans. The 2nd Submarine Flotilla has been organized. On the 16th inst., the fastest express system is to be initiated on the Tokaido line between Shimbashi and Kobe, the distance to be covered in 13 hours and 40 minutes. A rumour has gained ground in Peking to the effect that Russia appears to have refused to shorten the period of time allowed for evacuation.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）

旅館 料理 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號（電話七九番）店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正躬

旅館 髙砂ホテル 料理 髙砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四〇番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號 料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 並ニ溫泉 一力 營口永世街 店主 堀万助 毎日新湯

和洋料理 松月亭 本店 營口元神廟街一四三号 住田信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案内

旅館 料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園提

旅館 西洋料理館 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理 御旅館 遼陽西門外二七号 支店 滿洲ホテル 上松榮治郎

遼陽城內東街 一和洋御料理 遼東館

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊華麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門（元紅葉館跡）樓主 大瀨七造（電話十七號）溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ

旅館料理店 日盛館 奉天小西關八街南 館主 入江信男（電話 號）

旅館 料理店 梅松館 奉天城內東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節は極て便宜に御取扱可申上候以上

旅館 御料理 高砂館本店 奉天十間房第十五號

奉高館 高砂館支店 奉天城外廿四 店主 宇本智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號）主任 藤島初野

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉强館 奉天小西關外北長發園隣

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル 旅館部

會席御料理 金城館

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號 大淸通運公司 營口支店

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

新着の御知らせ
東京より
蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等
其他
雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屛風等夫れ〱產地より着荷仕り候
新到
各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屛、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 加藤洋行（電話八十番）

飯塚工程局材料部
營口元神廟前（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 **加州組**（電話八十六番）

大連 **東洋ホテル**
大連鐵道停塲附近民政署前兒玉町

西洋家具製造販賣
營口青堆子 **清水寧木局**（電話九十四番）

美味安價西洋料理 **牛莊亭**

會席料理 **三日月** 營口警務課前南江入

東營口郵便局東隣 **島田洋服店**
新民屯停車塲前 **同支店**

爲替相塲（四月十日）
日本向 九十九圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表
加藤洋行 一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仝狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢
矢野洋行 室內裝飾品及寢具 一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓 [illegible]
一疊 一薄縁 十枚 二圓六十錢以上三圓 一麻緣 八圓 一綿緣通 仝 三圓 三圓五十錢 [illegible]

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙